

あおがく通信

編集・発行
(学) 青池学園 広報室
2017. 9. 1
第23号(1)

あおがく通信第23号をお届けします！今回は各科を代表し、学生8名に実習を終えての感想と次の実習へ向けての課題や意気込みを語っていただきました。後期に実習を控えている後輩も先輩に続けるように頑張りましょう！

若狭医療福祉専門学校 実習を終えた先輩の声！



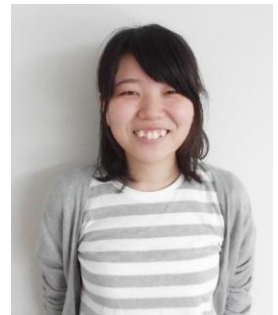
医療保育科3年
保木口 茉依さん
(敦賀気比高校出身)

感想：私は、0歳から5歳まで全ての年齢のクラスに入り実習させていただきました。年齢ごとに言語や体の発達が全く違い毎日が新鮮で勉強になることばかりでした。実習中、子どもたち一人ひとりとコミュニケーションをとり信頼関係を少しでも築けるように努力しました。また、周りの状況を素早く把握し今何をやるべきか、どこで何が起きているのか広い視野で自ら動くことを意識して行動することを心がけました。園の先生方からは保育士として、社会人になる一人の学生としてアドバイスや改善点を教えていただき、これから何が必要なのかに気づくことができました。

課題や意気込み：次の実習が最後なので、今までの実習で学んだ事を活かし、自分らしく積極的に取り組みたいと思います。また“保育士”について理解を深め、自信をもって社会に出られるよう精神的にも強くなれたらよいと思います。

感想：今回の実習では、4歳児のクラスに入らせていただきました。4歳児は自分の力で考えて行動する力が身につく時期だと指導担当の先生に教えて頂き、そのため実習中はできるだけ子どもが自分なりの答えを見つけられるよう見守る姿勢を持つように努めました。すると、子ども達は問題に直面したとき、子ども達だけで意見を出し合い、こうしたらいいよ、こういうふうにはできないかなと、私が思い付かないような面白い答えを次々に出していました。そこで、子どもはやはり素晴らしいと感じ、またそれを理解し、引き出せる環境作りに取り組まれている保育士の方も素晴らしいと感じました。

課題や意気込み：2週間の実習で自分の足りない部分やもっと伸ばすことができる部分を指導担当の先生のご指摘や自分自身の気付きから多く見つけることができました。この課題を残りの学校生活や次の実習で達成し、自信を持って就職活動に挑んでいきたいです。



医療保育科3年
山崎 真希さん

感想：私は、特別養護老人ホームで実習をさせていただき、入浴介助や食事介助、オムツ交換等様々な介護技術を学びました。特にオムツ交換が大変で、手順や注意すべき点を学校で学び、練習も行っていましたが、何も障害を持たない学生同士での練習であったため、実際の現場でのオムツ交換は考えていた以上に難しかったです。特に手足に拘縮のある方は、脱衣や臀部の清拭等に時間がかかった事で、ご利用者に負担をかけてしまい、もっと実技の練習をしなければと強く思いました。

課題や意気込み：ご利用者一人ひとりに応じた介助があまりできなかったという課題が見つかったので、次の実習ではできるだけ多く実践を重ね、課題を乗り越えていこうと思いました。



介護福祉科2年
榮 晃矢さん
(啓新高校出身)

感想：私は、13日間の実習を通して学校で学んだ方法とはまた違った介助方法を体験し、学びました。介助の際に心掛けた事は、ご利用者のできることは自分でしていただき、出来ないところを介助し、残存機能を活かしながら介助を行うことです。指導していただいた職員の方々の的確なアドバイスにより、積極的に実習に取り組むことができ、多くの学びを得ることができました。

課題や意気込み：次の実習でも、積極的に介助を学び、技術を高め、コミュニケーションを通して、ご利用者と信頼関係を築けるよう頑張りたいです。



介護福祉科2年
大谷 葉留菜さん
(若狭東高校出身)



医療秘書科2年
杉本 真由香 さん
(東舞鶴高校出身)

感想：初めての長期実習だったのでとても緊張しましたが、スタッフの皆さんに優しくサポートしていただき、最後まで頑張ることが出来ました。医療事務業務を主に行っている医事課だけでなく、薬剤部や病棟業務、医療秘書業務など、様々な部署の見学や業務を経験することができました。医事課での実習中たくさんの患者様から「ありがとう」と声をかけていただいたことが、とても嬉しかったです。また、患者様が少しでも明るい気持ちになれると良いと思いました。改めて、たくさんのスタッフの方々が医療サービスに関わっているのだと気付きました。

課題と意気込み：今回の実習を今後の就職活動にしっかりと活かせるよう頑張りたいです。

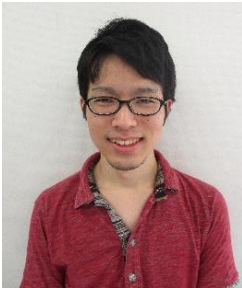
感想：私は、10日間の実習を通し、初めて経験することが多く充実した実習だったと感じています。病院のあらゆる部署で事務業務に取り



医療秘書科2年
岩田 雅史 さん
(若狭高校出身)

組み『このようなことも行うのか。』と感じたこともたくさんありました。一番思い出に残っているのは医師事務補助作業業務です。病棟事務を経験し、1日の仕事の流れを体感することができました。患者様の薬や次の日の検査内容の確認、中でも診断書を書くというのが一番大変だとおうかがいしました。職員同士が活発に意見交換をされておりコミュニケーションの大切さを改めて感じました。

課題と意気込み：実習で気付いた課題はもっと動けるようになるということです。また、メモをとることも大切です。今後社会人になるにあたり活かして活かしたいです。



理学療法科4年
西村 公稀 さん
(美方高校出身)

感想：昨年の10月から今年の7月にかけて、3回の臨床実習を経験しました。1日1日がとても充実しており、多くのことを学ぶことができました。学校で学んだ評価や治療を実際に患者様に行わせていただく中で、声のかけ方や気配りの大切さ、患者様に負担をかけないように行うことの難しさを体感しました。また、失敗をすることや、治療がうまくいかず悩むこともありましたが、指導者の先生だけでなく、多くの職員の方からご指導頂き、修正を行いながら少しずつ改善することができました。

課題と意気込み：私が次に患者様の前に立つのは卒業後“理学療法士”としてです。学生の時より責任は重く、私の行動一つで患者様の人生を大きく左右することになります。その時に少しでも患者様に適した治療を提供できるよう、残りの学校生活で勉強に励みたいです。



理学療法科4年
北之 ともよ さん
(鯖江高校出身)

感想：私は3回の実習を通して、私は患者様のことを第一に考えることが大切だと感じました。1回目の治療実習では、患者様に対して何もできず悔しさと申し訳なさを感じました。2回目は、自分がどうしたいのかを毎日考え、教科書や文献で調べ、先生に相談しました。そうすることで勉強や治療をする楽しさを感じることができました。大変なこともたくさんありますが、最後まで笑顔で患者様と向き合うことで信頼関係を築くことができました。卒業後理学療法士として働く時も、患者様の事を第一に考え、笑顔と元気を忘れずに取り組みたいです。

課題と意気込み：これまでお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れずに、まずは国家試験に向けて勉強に励みます。卒業後は、理学療法士としての自覚と責任を持ち、患者様に合った治療を提供できるように頑張りたいです。

若狭医療福祉専門学校 入学願書受付中

体験入学 日程

9月9日(土) 14:00～16:00

9月30日(土) 14:00～16:00

入試日程

AO入試 随時

一般入試 10月21日(土)

11月25日(土)

<編集後記>

実習を通して、現場で何が求められているのか、どのような技術が必要なのかを体感すると同時に、さまざまな思いを抱くことができたと思います。この経験が自分自身を成長させ、今後の学習にも結び付いていきます。実習、お疲れ様でした！ (わかさ広報隊)

あおがく通信

編集・発行
(学) 青池学園 広報室
2017. 9. 1
第23号(2)

あおがく通信第23号(2)は、青池調理師専門学校に実習の感想や後輩へのメッセージについてインタビューしました。元気で活発な学生のコメントにご注目ください!!

青池調理師専門学校 実習を終えた先輩の声!



調理師科高等課程3年
森口 大聖 さん

感想: 私は調理師科に入学し、和・洋・中、たくさんの知識や技術を学び、昨年からホテルの研修に3回行きました。特に最後の夏休みの研修では、自分が大きく成長できたと思っています。初めての研修では見たことのない設備や学校の何倍もあるような盛り付け台が、とても印象に残っています。また、効率のいい作業の方法などはもちろん、職場での上司に対する意識など、社会の常識などもこの研修を通して学ぶことができました。

後輩に一言: 「技は教わるものではなく目で盗め。」「若いうちはカラカラのスポンジ。自分がいいと思うものはどんどん吸収しろ。失敗するのは当たり前、怒ってもらえるうちが花。」これらは研修の際に出会った人からいただいたことばですが、このことばを後輩の皆さんに送りたいと思います。

感想: 僕は昨年、温泉旅館へ実習に行きました。初めて知る食材や調理のこと以外にも、人として大事なことや、礼儀など、たくさんのことを学びました。そして今年、初めてホテルで洋食(フレンチ)の世界を見せていただくことができました。今回の実習も知らない食材が多数あり、さまざまな野菜の処理の仕方や、今まで習ってきたこととはまったく違う包丁の使い方なども教えていただき、昨年以上に、大変貴重な経験となりました。たった3日間でしたが、感動の連続、充実した最後のインターンシップとなりました。

後輩に一言: 調理の世界を目指すなら、卒業後に自分はどのような分野の仕事がしたいのかという、しっかりとしたビジョンを持ってください。先生方は僕たちのために企業の方と相談し、実習場所を探してくださっています。在学中にいろんな世界を見てください。調理は楽しいです!!本当に自分がやりたいことを見つけてください。



調理師科専門課程
安達 円香 さん
(東舞鶴高校出身)

感想: 入学以来生産者の方々と触れ合う実習に参加しました。それぞれの生産者の方々とふれあい、私たちが口にしているものがどのように収穫されているのか、そしてどのような加工をされているのか学ぶことが出来ました。また、それぞれの生産者の方のご苦労なども垣間見ることが出来、貴重な体験が出来ました。今回体験できたのは一部の生産者の方ですが、食材として私たちが調理するものは、すべて、生産者の方の手によって収穫されて、流通に携わる方々の手によって店舗などへ運ばれ、私たちの手元に来るまでに多くの方々の力を借りていることを、少し理解できたと思います。今後扱う食材は、無駄にすることなく、栄養あるものとして料理していこうと思います。



調理師科高等課程3年
増永 魁斗 さん



調理師科専門課程
鯉田 ユウリ さん
(北大津高校出身)

感想: この学校に入学して漁業体験など、多くの校外実習に参加しました。その中で、漁業体験のときに漁師の方から興味深いお話を聞くことが出来ました。今回体験させていただいたのは、定置網漁でしたが、この網の張り方は、ある程度の魚は逃げることが出来て、すべてをとっているわけではなく、世界でも注目を浴び始めている漁法のような感じでした。また、アメリカなどでは漁師の育成に力をいれているようです。日本の自給率などの話は授業でも習いましたが、今後は生産者の存在が大きくなるのではと感じました。私は将来お店を持ちたいと思っているので、魚は少し無理かもしれませんが、野菜などを育てて、その野菜を使ってメニューを考えていきたいと思いました。

青池調理師専門学校 入学願書受付中

体験入学	日程	10月15日(日)	11月25日(土)	10:00~
体験入学	日程	10月19日(木)	11月9日(木)	18:30~